

きよさと 組合だより



No.369

謹賀新年



年頭にあたって

清里町農業協同組合代表理事組合長 石井 透…2
令和4年の年頭にあたり

北海道農業協同組合中央会会長

小野寺俊幸…4

新年のご挨拶 清里町農民連盟委員長 二俣 清史…5

新年のご挨拶 ホクレン斜里原料所所長 中山 伸哉…6

新年のご挨拶 網走農業改良普及センター清里支所支所長 池田 勲…7

新年のご挨拶 清里町農協青年部部長 谷本 和樹…8

新年のご挨拶 JA清里町女性部部長 浅井あゆ美…9

第30回JA北海道大会開催 コンバイン格納庫新築工事竣工式…10

地域牛乳・乳製品需要拡大事業実施 JA清里町資材センターオープン2周年…11

長いも販売会開催 農協常勤と女性部との懇談会…12

清里高校3年生「総合的な探究の時間」 無人ヘリコプター防除作業実施…13

JAグループ通信 北海道コンサドーレ札幌選手寮…14

しまふく寮のレシピ紹介Vol.3 理事会の経過をお知らせ致します…15

組合員状況 新規採用職員のご紹介…16

ご結婚おめでとう 年末・年始の業務日程について…17

年末・年始(正月)のATM稼働状況のご案内…18

年末・年始(正月)のJA共済からのご案内…19

ベジタブルライフフキのとう…20

もくじ

2022年

1

令和4年

年頭のご挨拶

年頭にわたって



清里町農業協同組合

代表理事組合長

石 井

透

新年明けましておめでとうございます。組合員ご家族の皆様にはご健勝の中、新年を迎えられましたことに心よりお慶び申し上げます。

また旧年中はJA事業の推進に一方ならぬご理解とご協力をいただきましたことに対しまして改めてお礼を申し上げます。本年におきましても組合員各位のご協力をいただきながら、役職員一丸となつて事業推進に邁進していく所存でございますので、変わらぬご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。

昨年を振り返りますと、長期に渡るコロナ禍の中、経済活動も低調な動きとなり、1年延期となつて開催された東京オリンピック・パラリンピックもバブル方式の中で無観客での開催となりましたが、日本選手団の活躍もあり、テレビ越しとは言え徐々に明るい話題と

なりました。国内外においてもウクチン接種がある程度進み、人流や経済の流れも動き始めましたが、国内では製造部品などの行き過ぎた海外依存を推し進めたため輸入量が確保できず、自動車・電気・機械などの工業分野の製品供給に支障が始めているところです。

農業情勢では石油関連の急激な値上がりとともに農業資材価格が全体的に高騰し、農畜産物生産に大きな影響を受けております。特に肥料・飼料・農業機械などは価格の値上げ及び高止まりが続いている状況です。気象的には地球温暖化の影響が原因なのか、ここ数年は局所的な干ばつ・集中豪雨などが目立ち、毎年のように河川の氾濫、土石流などで尊い命が犠牲となり、また甚大な農業被害も多くなつてきております。また長引くコロナ禍で観光産業・外食産業においても低迷が続き、国内産農

畜産物在庫が増加し、今後の出口対策などでの国の対応をお願いするところです。特に「三白」と呼ばれる「米」・「生乳」・「砂糖」の需給対策・出口対策を早急に進めていただきたいと考えているところです。

清里町内の農業状況は、昨年の春先は順調な植付作業が進みましたが、てん菜のポット苗に一部生育不良が見られ、またその後の6月から8月上旬にかけては異常なほどの高温と平年の1割程度の降水量による干ばつにより、てん菜・馬鈴しよを始めとする各作物は大きな影響を受け、出来秋を憂慮しておりましたが、8月中旬にまとまった降雨があり何とか息を吹き返したところです。しかし9月中旬には町内の多くの地域において降雹があり、またもてん菜・馬鈴しよを中心とした農作物被害、更に育苗施設などに大きな被害があ

りました。農作物の生育回復基調に水を差された形となり、改めて自然の厳しさを痛感した年となりました。

生産面では干ばつ傾向により、細粒を覚悟していた麦類については予想に反して乾麦重量が過去最高となり、整粒率は若干低かったものの「きたほなみ」・「春よ恋」ともに全量1等Aランクで販売することができ、良好な結果となりました。澱原馬鈴しよは干ばつの影響が大きく、早掘りにおいては低反収で推移しておりましたが、収穫後半の晩生品種においてはまずまずの反収となり、全体的には平年並みの収量は確保できたもののライマン価は低く、でん粉製品出来高は伸びを欠いた結果となりました。てん菜は干ばつからの回復基調により平年作まで収量を伸ばすことができましたが、糖分値は低く産糖量的には満足のいく結果とはなりません。生乳生産は堅調な生産量を確保し安定した年でしたが、干ばつの影響により二番草とデントコーンが減収し、今後の粗飼料確保が課題となりました。青果物も高温干ばつの影響を受け、玉葱が小玉傾向、長いものはA品規格の比率が低くなりまし

た。また豆類においては大豆はほぼ平年並みの反収を確保できまし

たが、小豆については莢数が少なく、また秋口の長引く降雨の影響で登熟が進まず、低反収となりました。

農協事業は「産地生産基盤パワーアップ事業」の承認をいただき、コンバイン9台の更新、また既存のコンバイン全てにGPS自動操舵システムを装着し、刈取期間の短縮とオペレーターの労力軽減に取り組みました。更に同事業により麦作乾燥調製施設の貯留サイロおよび調製ラインの増設を本年3月末完成を目指し進めております。またコンバイン格納庫1棟を取得し、大型コンバインの格納とコンバイン修理の効率化を図ったところですが、大きな投資が続いているところですが、今後長期にわたり有効に活用することで組合員各位の利益に繋がるものと考えているところです。今回の補助事業の承認をいただくことに当たりましては清里町を始め、清里町議会並びに関係機関各位のご指導・ご協力、更には各議会議員の皆様のご強力な後押しをいただきましたこと、改めてお礼を申し上げます。

また8月下旬には麦作センター水元工場において新型コロナウイルスの感染者が確認され、その後のPCR検査の結果、全体では4名が感染者となり、12日間の操業

停止を余儀なくされました。この間、組合員各位を始め関係各位には多大なるご心配とご迷惑をおかけすることとなり、改めてお詫び申し上げます。今回の事業を教訓として災害対策規程に基づいた事業継続マニュアルの再構築を進めて参ります。

令和4年度は長引くコロナ禍の中、新種のウィルスの流行が懸念され、国内外ともに本来の経済活動までの回復の見通しがたらず、また原油の高騰に伴う燃油、石油関連製品、肥料や飼料の高止まりにより今年の営農への影響は避けられないものと推察しております。また本年1月より東アジアを中心とした国々が参加する地域的な包括的経済連携協定(RCEP)が発効、環太平洋経済連携協定(TPP)についても中国と台湾が相次いで加盟を申請し、今後一層の自由化を推し進めていくものと考えられます。特に中国との農畜産物交渉においては今後最も注視をしていかなければならないものと考えております。昨年、JAグループは3年に1度の全国大会および北海道大会を開催し、「時代の変化に対応しつつ、組合員との対話により問題・課題を共有し、また農協活動の原点である相互扶助の精神に立ち返り、JA事業の好循環

を実現していくこと」などを決議しました。北海道大会の決議事項の下、加速する社会・経済環境の変化へ適応すべく事業を展開して参ります。

JAの事業では、大型高性能コンバインの取得による刈取期間の短縮と麦作神威工場の増設による調製期間の短縮によりコスト削減を図って参ります。また麦作集団の再編成も2年目を迎えることから効率の良い小麦収穫に向け麦作集団長会議を中心に協議を進めて参ります。さらに懇談会などで話題としておりました高速洗車機の取得につきましては、採算性を考慮した中で冬季懇談会でご相談させていただきます。農畜産物関係では長引くコロナ禍と食生活の変化により、「砂糖」、「小麦」、「牛乳」、「乳製品」などの需給環境が大変厳しいものとなっております。組合員各位には特段のご理解とご協力をいただきながら消費拡大運動を進めておりますし、今後同様の運動を展開しながら出口対策を生産者自らも進めて行く事が重要と考えておりますので引き続きご協力をお願い致します。清里町の主力3作物は昨年の記録的な高温・干ばつにおいても一定程度の安定した収量が確保できましたが、重要病害虫・連作障害などの影響も

顕著となって参りました。輪作体系の基本を考慮しつつ今後の対応を考えて行く事が必要です。またシストセンチュウにつきましては、昨年種子生産団地でG1が確認され、今後の種子馬鈴しょ生産に不安を抱く状況となっており、GPにおいては昨年は新たな発生は確認されませんでした。今後の馬鈴しょ生産に脅威を感じているところですが、いずれにしてもPCN対策をしっかりと行い、まん延防止とフオローアップ期間を経た「卒業」に向けての取り組みを強化して参ります。また第10期総合5ヶ年計画は中間年を迎えることとなり、固定資産取得計画においては補助事業の活用により主要な部分においては見通しが立ったところですが、各部門の対策の中では取り組みが遅れている部分がありまして、今後の進捗管理をしつかりと行なって参ります。色々な課題が山積しておりますが、組合員各位と役職員が一体となり事業展開をして参りたいと考えておりますので、宜しくお願い致します。

結びに当たり、本年が豊稔の出来秋となりますこと、組合員ご家族の皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げますとともに、JA事業への更なる結果をお願い申し上げます。上げ年頭のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

令和4年の年頭にあたり



北海道農業協同組合中央会

会長 小野寺 俊 幸

新年あけましておめでとうござ
います。

組合員並びに役職員の皆様には、
コロナ禍にあつてもその苦境にも
負けず、日々営農に更に邁進され
ておられることと存じます。

また、地域農業の振興や地域社
会の発展に向け、日頃より多大な
ご尽力をされていることに対して
も、改めて敬意と感謝を申し上げ
る次第であります。

昨年の本道農業につきましては、
春先は天候に恵まれ順調に推移し
たものの、7月～8月にかけての
長期間の猛暑や少雨による干ばつ
また、9月に発生した雹や大雨に
より、一部の地域や作物によつて
は、生育が大変、心配されたもの
の、おおむね平年作を確保するこ

とができました。

しかしながら、一昨年から引き
続き、新型コロナウイルスとの戦
いが長期化し、今までの日常とは
大きく変化した1年でありました。
農業分野においても例外ではなく
各種イベントの自粛、外食の需要
減少等の影響により、各作物の消
費に大きな影響が出ています。

今後は作物ごとの実態を踏まえ
た、国産・道産農畜産物の需要喚
起・消費拡大を図るとともに、外
国人技能実習生が入国にも影響が
あり、農作業の人材確保にも大き
な課題となっておりますので、北
海道、全国連とも連携し、JAG
グループ北海道としてしっかりとそ
の対応を図ってまいります。

昨年は第30回のJ A北海道大会

を開催し、「北海道550万人と
共に創る『力強い農業』と『豊か
な魅力ある地域社会』の達成」と
いう将来ビジョンが決議されまし
た。

コロナ禍やデジタル化への対応、
SDGsへの貢献、信用・共済事
業をはじめとしたJ A経営を取り
巻く事業環境への対応など、北海
道農業、J Aグループ北海道を取
り巻く環境が急激に変化しており
このような環境に適応していくに
は、改めて、協同組合運動の原点
である「対話」を通じて、実践方
策を設定し、実践と改善をくり返
すことで、変化の波をJ A運営に
取り込んでいくことが必要であり、
組合員・役職員が一丸となつて
しっかりと取り組んでいくことが

重要となります。

結びになりますが、本年は壬寅
年です。十干の「壬」は陽氣を下
に宿すという意味を持つており、
生命の誕生を宿す意味を表します。
一方、十二支の「寅」にも壬と同
様で、草花が伸びようとする状態
を表しています。この謂われにあ
り、本年が豊穰の年となること
と、新型コロナウイルスの1日も
早い終息と皆様のご健勝をご祈念
申し上げ、年頭のご挨拶と致しま
す。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農民連盟

委員長

二俣 清史

新年明けましておめでとうございます。
皆様には輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より農民連盟の運動に際し、ご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、比較的穏やかな冬を越え、春耕・蒔き付けも順調に進み、その後も定期的な降雨と日照により、管理作業も順調なところでした。しかし7月以降は高温が続く、特に中旬から8月中旬にかけては平年の5%程度の雨量という極度の干ばつ傾向にありました。農作物への影響は多大で、可能な限りの散水管理作業等にご苦労されたことと思われます。組織としても減収によるクミカン収支への影響を懸念し、共済金等の年内給付・無利子の短

期融資、また干ばつへの根本的なハード対策を関係組織との連携のもと、国等に要請を行いました。世界規模での課題となる地球温暖化対策には引き続き注視していくことでしょうか。

外交においては1月20日にバイデン米新大統領が就任し、日米における貿易協定交渉にはやや消極的な姿勢であります。2021年より5年間の在日アメリカ軍駐留経費負担は500億円増で合意の政府の姿勢には、4年目を迎える日米貿易協定における米国産牛肉セーフガードの再協議等に、これ以上の「思いやり」が乗らないよう皮肉りたいと思います。RCEP協議においては農業分野では5,600億円の生産減少が試算され、TPPと比較して3.5倍の損失が見込まれました。そうし

た専門家の警鐘や現場の農業組織の意見に対して政府は「前提条件が不明」と蔑ろにし、この1月から発効となります。また中国・韓国との初の協定は驚異であり、今後の影響は計り知れないものがあります。5年目を迎えるTPP・欧州EPAや3年目となる日英EPAも同様に注視すべきものです。国内では4月に種苗法が改正施行され種子法の廃止と共に、生産者に不当な負担がかからぬよう監視の必要があるでしょう。民間企業による農地取得の全国展開は見送りされましたが、養父市における戦略特区制度の延長は、農業者の不安を引き延ばしただけにすぎません。直接支払交付金の算定・砂糖調整金等てん菜を取り巻く対策・新しく予算化されるみどり戦略の利活用等取り組む課題は多数

あります。

町内対策においては防風保安林の整備が、上斜里地区でのモデル事業検証を終えて、神威地区での事業開始となります。輪作体系の維持を図る畑作構造転換事業予算の維持、シロシストセンチュウ対策、鳥獣被害対策、種子芋団地の保護、道路支障木や明渠等の環境整備等に、組合員皆様・JA清里町・清里町・関係機関の方々のご協力を賜り、結成より75年を経た清里町農民連盟の運動を展開して行く次第でございます。

結びになりますが、本年が皆様にとりまして実りある穏やかな年であり、益々のご健勝とご活躍を祈念申し上げ年頭のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



ホクレン斜里原料所
所 長 中 山

伸 哉

新年明けましておめでとうございます。
令和4年の新春を迎え謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

日頃より、てん菜生産振興、製糖工場運営、並びに原料所業務に対し、組合員をはじめ農協および関係機関の皆様には、特段のご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。

令和3年産のてん菜作況については、播種定植作業は概ね順調に開始されましたが、昨年に引き続き初期生育不良を呈した圃場がみられました。加えて夏季に長期にわたる干ばつに見舞われたことより、地域間・圃場間の生育差がばらついたものとなりました。ただし褐斑病・根腐病・西部萎黄病などの病害は非常に少なく、ヨトウムシ

などの害虫についても比較的少なく推移しましたが、生育終盤には雪害に見舞われた地区もありました。

このような状況のもと、清里町の生産実績については収量が約67t/haとおよそ平年並の収量を得ることができました。これも一重に組合員、関係機関の皆様の日頃からの御努力、気象災害への対応、土づくりや肥培管理の成果であるものと存じ、重ねて感謝申し上げます。

てん菜輸送については、昨年に続き土壌病害対応により輸送時期・受口の調整が必要な状況となりました。加えて区域全体の生産量見込より、10月10日から早い時期から開始となりました。輸送中は夏季に反して雨天が多く、都

度輸送調整を余儀なくされましたが、ほぼ計画通りに中間輸送を終了しました。この間、昨年度輸送の反省点も踏まえ防除区域での指定期間輸送等を実施し、皆様には多大なるご協力をいただきました。後期・庭先輸送については、輸送遅れなど特段の支障なく、これも皆様のご協力により完了することが出来ました。

輸送業界においては、運転手不足が加速しているうえ、勤怠管理に関する規制強化が進み厳しい環境下にあります。このためJAや組合員の皆様のご協力をいただきながら出荷調整や大型車導入に取り組みしました。今後についても輸送対策の諸取組を継続する必要があります。ご協力賜りたく存じます。さて、今日砂糖需給のアンバラ

ンス化が進み、施策等が不透明な状況下ではありますものの、清里町をはじめとする区域内において、畑作基幹作物であるてん菜の生産基盤維持に向けては、品種導入・栽培技術向上・輸送効率向上に取り組んでいくことが重要であり、今後とも生産地域に根差し、皆様に貢献できる工場を目指して参ります。また土壌病害蔓延防止対策についても、国・道の指針のもと取り組みを継続して参りますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

末筆になりますが、皆様方のますますのご健勝と本年の豊穰を心からご祈念申し上げます。新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



網走農業改良普及センター清里支所

支所長

池田 勲

新年明けましておめでとうございます。
2022年の新春を迎え、謹んで心よりお慶び申し上げます。

また、皆様には日頃より普及センターの活動に対しまして、特段のご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

さて、昨今の情勢は、新型コロナウイルス感染症により、農業はもとより社会全体に影響が続いております。

昨年の気象と農作物の作況を振り返ってみますと、記録的な高温少雨や雹害など気象災害の多い年となりました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

融雪期は平年より10日早く、それに伴い秋まき小麦の起生期も1週間早くなりました。また、越冬

前の高温により過繁茂となり莖数や穂数も多く推移しました。6月からの高温少雨により、成熟期は早まったものの、登熟期間の積算日照時間が多く、収量は平年作を大幅に上回り品質も良好でした。しかしながらコムギ縮萎病は3年連続多発が続く今後も懸念されます。

馬鈴しょやてん菜も、高温少雨の影響により、ほ場によつては茎葉の枯死や萎れが見られました。また、その後の降雨で馬鈴しょは2次生長、てん菜は雹害による茎葉損傷が見られました。そのような状況下で、馬鈴しょのでん粉価はやや低いものの、上いも収量は平年並、てん菜についても根中糖分は低いものの根重は重くなり、総じて平年並となりました。

豆類の高温少雨の影響は、大豆は比較的少ないものの、小豆は着莢不良と2次生長により成熟期・収穫期は大幅に遅くなり、収量・品質とも不良となりました。

飼料作物の収量は平年より少なかったものの、品質は概ね良好で、影響は最小限となりました。

昨年は、高温やほ場の乾湿の差が大きい中、皆様は作物の生育に合わせた栽培管理にご尽力されたことと思います。高温少雨の影響を最小限にとどめたことは、皆様の高い生産技術と土づくりなど努力の賜物と敬意を表します。また、土づくりはもちろん、合わせて畑地かんがいや土地盤整備の重要性が再確認された年になりました。今後、多発する自然災害に対して備えを強化する必要があります。

懸案事項となっている土壌病害虫の蔓延防止には、輪作体系の整備を進め、更に抵抗性品種の栽培法も確立する必要があります。

農業をめぐる情勢では農家戸数の減少や高齢化による担い手の減少や環太平洋パートナーシップ協定（TPP11）などによる経済のグローバル化に直面しています。

経営規模拡大と担い手の減少に対応するため多様な担い手の育成確保やスマート農業の推進など、更なる農業生産力の向上や農村活性化に向けた取り組みが必要です。

普及センターとしても、地域の諸課題に対し皆様とともに、町やJAなどの関係機関と連携を強化しながら活動を推進します。

職員一同、皆様方の農業経営の向上及び地域農業の振興に力添えできればと考えております。

皆様にとって、本年の豊穣の秋と、皆様のご多幸と益々のご発展をご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



清里町農協青年部
部長 谷 本 和 樹

新年明けましておめでとうござ
います。輝かしい新春を迎え、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。
日頃より、清里町農協青年部活
動に對しまして、農協・各関係機
関の皆様方には多大なるご支援と
ご協力をいただいておりますこと
に、深く感謝申し上げます。また、
深いご理解のもと、青年部活動に
ご協力いただいている部員の皆様、
そしてご家族の皆様方にも重ねて
お礼申し上げます。

我々青年部は、年々厳しさを増
す農業情勢の中、農業の未来を担
う若手農業者が地域貢献や農協事
業の推進、若手農業者である部員
同士の親睦などを目的にさまざま
な活動を行っています。

昨年を振り返りますと、春の時
き付け作業は順調に進んだものの、
夏場の高温干ばつにより大きな影

響を受けました。降水量も例年に
ないほど少なく馬鈴しょ、てん菜、
玉ねぎなどの小玉や変形が目立ち、
牧草、デントコーンなどの生育不
良などにも影響が出てしまい収量
への影響が心配される中、さらに
9月の降雪被害によりてん菜や玉
ねぎなどに被害をもたらしました。
しかしながら収穫期に入ると小麦
は平年並みであり、その他作物の
生育についても何とか持ちこたえ
大きな影響は免れたのではないかと
考えております。ここ近年を振
り返つても、暴風や干ばつといっ
た影響、そして気温の変化などの
異常気象が目立ち今後の農作物の
影響がとて心配ですが、現実を
しっかりと受け止め対策をしてい
く必要があると感じています。

さて、昨年の青年部活動を振り
返りますと、やはり一昨年に続き
新型コロナウイルスの影響は大き
く受けたと感じています。今何が
できるか、という一つのキーワー
ドを課題に活動計画を立てたもの
の6月の緊急事態宣言の延長を受
け企画していた交流会の中止や各
支部の部長の皆様との話し合いの
場を設けることができなくとも
残念なことだと感じています。こ
の場を借りて改めて部員の皆様へ
お詫び申し上げます。

そして8月頃から清里町内でも
ワクチン接種が始まり、そこから
道内でも感染者数が徐々にではあ
りますが減少傾向に進みこれから
の青年部活動や日常生活にも期待
が持てる段階へ進んでいる最中な
のではと感じています。さらにこ
ういった状況の中インターネット
を活用した会議など様々な方法が
あることも知り、今後の青年部の
学習会などにも取り入れ部員皆様
が満足のいく活動ができればと考
えています。

そんな中、我々青年部や農協、
教育委員会、清里小学校、給食セ
ンターで連帯し企画をしている清
小楽しいキッズスクール農園につ
きましては感染対策を徹底したう
えで、食と農の大切さを学んでも
らうためにも、小学3年生の皆様
にお越しいただき我々青年部と一
緒に芋の観察会を開催し、収穫に
ついて実際に自分の手で掘って
収穫をしていただき沢山のことを
学んでいたただき感じています。
今回参加していただいた小学生の
皆様からも沢山の笑顔と楽しんで
取り組む姿勢を見て今後も満足で
きる食育活動を行なっていければ
と思います。そして今後も我々青
年部は積極的に地域貢献し、この
情勢を乗り越えられるよう皆様と
協力し合い活動を行いたいと思
います。

最後になりましたが、農協青年
部、そして農協・各関係機関の皆
様方には多大なるご支援、ご指導
をいただき改めて感謝申し上げます
とともに、皆様方にとって明るく
良い一年であります様ご祈念申し
上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

新年のご挨拶



JA清里町女性部
部長 浅井 あゆ美

新年明けましておめでとうございます。
皆様におかれましてはご家族お揃いで健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃よりJA女性部活動に対しJA清里町はじめ、女性部員の皆様方には、ご理解とご協力を賜り感謝申し上げます。

昨年もありマスクの外せない日々が続く新型コロナウイルスに対する配慮が欠かせない不安な一年でした。そのような中で作物の状況を振り返りますと、春先定植時期の低温、6月に入ってから水不足と高温、過去経験のない干ばつに続き、9月夜中の雹被害と作物に大きな影響を与えました。感染が拡大する中でも作物は関係なく育つもので天候による被害は

ありましたが、収穫は平年並と聞き安心致しました。

女性部活動は「できることから始めましょう」ということではありましたが、北海道において三度にわたり緊急事態宣言が発令され、飲食店への時短要請や外出自粛制限などの対策が実施され、女性部事業の開催は難しく迷いもありましたが部員の意見も取り入れて皆様の安全を考え、全体での事業は中止の決断をし、各支部活動を少人数で行った一年でした。新型コロナウイルスの終息と安心安全な生活が戻り女性部活動ができる日が訪れることを願います。また、このコロナ禍で対面型コミュニケーションの場が限られオンラインシステムを活用する選択が増え利便性が高まり時代の変化を感じ

ました。11月にはワクチン接種の効果もあり新規感染者数も減少してきていることから、私たち女性部は防災について考えてみました。ブラックアウトの経験もあり、コロナ禍の中、もし災害が起こったらどのようなことをしたら良いのか、どのような物が必要か部員全体に防災セットを配布し各支部で防災の本を参考にして防災に関する勉強会を実施致しました。

新型コロナウイルスにより私たちの生活環境が変わり異なる過ごし方をされた方が多くいらっしゃると思います。今も不便な日々が続いていますが、この状況が一日も早く解消され平穏な日々が戻り本年度は元気な部員の皆様にお会いしたいです。新型コロナウイルス感染に気を付け、女性として母と

して大切な家族を守りながら、継続的な取り組みをし、女性部らしい活動ができるよう努めて参りたいと思います。

今後とも関係各位の変わらぬご指導、お力添えをお願い申し上げます。

今年は寅年です。運氣が芽吹き新しい成長ができる年といわれているそうです。皆様方にとつて輝く素敵な一年になりますことと、皆様とご家族のご健康、豊作を心からご祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

★第30回 J A 北海道大会開催

「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」の達成を！

11月16日、共済ホール（札幌市）において3年に一度の「第30回 J A 北海道大会」が開催されました。新型コロナウイルス感染防止のためWebと併用開催となり、会場には石井組合長が J A 清里町を代表して参加し、Web参加には、当 J A の役員と青年部ならびに女性部の役員の総勢27名が当 J A の会議室より参加致しました。小野寺会長は冒頭挨拶にて「本大会は30回の節目の年。新型コロナウイルスの感染拡大やデジタル化への対応、SDGsへの貢献など J A 経営や事業運営に重要な時期。これからの3年間で J A グ



ループ北海道が一丸となつて基本目標に取り組んでいきたい」と挨拶がありました。

大会では議案として、「J A 運営の好循環に向けて対話の成果を実践」と「J A 運営の好循環を支える人づくり・J A 経営の強化」の2つが基本目標として大会決議され、閉会となりました。

大会ではこのほか、鈴木直道道知事によるビデオメッセージや記念講演として（株）農林中金総合研究所理事長の皆川芳嗣氏より「2030年、2050年の地球とそこでの北海道農業の姿」と題した講演も行われました。



★コンバイン格納庫新築工事竣工式

今後の麦作事業にさらなる期待を込めて

11月18日、J A 清里町神威麦作センター第2駐車場に新築されたコンバイン格納庫の竣工式が執り行われました。

今回新築されたコンバイン格納庫は、大型化するコンバインの収納、サイロ4棟の増設場所の確保のため、既存の格納庫を解体し、新たに建設する必要が生じたことから4月より工事が進められていました。

石井組合長からは「今年度更新された大型コンバインをゆとりあるスペースに収納することができ、整備作業等に係る労災事故の軽減につながると考えている。また、



当 J A 主力の小麦生産は今後、さらに重要視される時期が来ると予想される。コンバイン格納庫を大事に扱いながら麦作事業に寄与して参りたい。」と今後の展望と期待を込めた挨拶をいただきました。



●地域牛乳・乳製品需要拡大事業実施●

牛乳の消費拡大を



11月26日、特別養護老人ホーム清楽園と介護老人福祉施設きよさと、清里高校の計3つの施設に対してJA清里町と清里町酪農組合による牛乳の寄贈が行われました。

今回の寄贈は低迷する牛乳・乳製品の需要に対する消費拡大の取り組みとして行われており、200ミリリットルの牛乳が3施設合計で355個贈られました。

牛乳寄贈を受けて清里高校の生徒会長である佐藤穂乃花さんより「ありがとうございます」と感謝の言葉をいただいております。



●JA清里町資材センターオープン2周年●

記念セール開催!



11月18日、JA清里町資材センターにてオープン2周年を記念したセールが開催されました。資材センターではおかげさまで11月18日をもちましてオープン2周年を迎えることとなりました。これも皆様の日頃のご愛顧の賜物と感謝しております。

今回のセールでは(株)マキタと(株)ホクレン油機サービスによる店頭販売も行われ、昨年以上に規模を拡大したセールとなりました。これからも未長く地域の皆様にご利用いただける店舗づくりに努めて参りますので、よろしくお願い致します。



●長いも販売会実施●

行列出来る晴天の販売会

11月24日と25日にAコープきよさと店にて清里町産長いも販売会が開催されました。

今回の販売会は昨年同様新型コロナウイルス感染拡大防止のために中止となったJA清里町収穫感謝祭の代替行事として、Aコープきよさと店と協力して特別価格での長いも販売会と地方発送を行いました。

販売会当日は、開店前から多くのお客様が清里町産長いもを買い求める為に来店し、販売会が始まると途端に行列が出来上がるほど賑わいを見せられました。

今年も残念ながら収穫感謝祭が中止となりましたが、来年こそは開催できることを願っております。



●農協常勤と女性部との懇談会

農協事業・Aコープの
更なる充実を目指して



12月7日、農協常勤と女性部の懇談会がJA2階会議室にて開催されました。

懇談事項は『令和3年度 Aコープ清里店の販売状況について』『Aコープ清里店に対する意見・要望について』『令和3年度 農業情勢について』『農協事業に対する意見・要望について』の4項目に関して説明があり、女性部からのご意見をいただきました。

本懇談会には、Aコープ清里店の尾野店長にも出席していただき、女性部からのご意見・ご要望に直接回答をいただきました。

また、農協事業に対するご意見・ご要望を通じて、女性部と活発な対話を行うことができ、今後の農協運営に反映していきたいと思っています。

●清里高校3年生「総合的な探求の時間」

3名の生徒による
JAへの取材実施



11月22日、JA清里町事務所にて清里高校3年生3名の生徒によるJA清里町への取材が行われました。

清里高校3年生では「総合的な探求の時間」において、清里町の地域活性化および持続可能な社会づくりに等について、生徒のまちづくりへの意識を涵養するとともに、公民としての資質を養うことを目的として、地域の現状と課題を把握するため、町内の各施設を訪問し、各自で決定したテーマに関する取材が行われております。

JA清里町に対しては「清里町の農家の企業化を促進とスマート農業や植物工場の導入について」をテーマに質問が行われ、白戸参事からの回答を一生懸命聞いておりました。今回の取材を通して、農業について理解を深めてもらえたと感じますので、今後も機会があれば積極的に取り組んで参ります。

●無人ヘリコプター防除作業実施

来年に備え今から準備を

11月6日・8日・16日・17日に無人ヘリコプターによる小麦の雪腐れ防除作業が実施されました。本年度は、防除時期に雨が多くの場に入ることができなかった生産者が多いことが予測されたため、16・17日に緊急防除として実施しております。

4日間にわたって行われた防除作業面積は合計で333.52ha（散布戸数59戸）となっております。

メーカーや担当者の皆さん、早朝からありがとうございました。



JA北海道中央会



JAグループ北海道では、令和3年11月16日に、第30回JA北海道大会を開催いたしました。本大会は、グループの基本方針を確認し関係者の意識を統一することを目的に、3カ年に1度、全道から組合員の皆さんの代表者が札幌に集まり開催しているものです。

今回の大会では、グループの将来ビジョン“北海道550万人※と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある地域社会」”を実現すべく、令和4～6年度におけるグループの基本目標として、「JA運営の好循環に向けて対話の成果を実践」「JA運営の好循環を支える人づくり・JA経営の強化」が定められました。

本決議をもとに、組合員・JA・連合会一丸となって、JA運営のスパイラルアップに繋がるよう取り組みましょう。

※550万人とは、「道民」と「北海道にゆかりのある道外の方々」のことを指します。



↑大会実行委員長挨拶を述べる中央会小野寺会長

JA北海道信連



特殊詐欺被害については、新聞・テレビなどで連日報道されている通り、新たな手口が広がるなど大きな社会問題となっています。JAバンク北海道では、11月～1月にかけ、道内のJAバンク店舗で来店者に対する声かけ運動を行うとともに、STVラジオでオリジナルコーナーを設け、北海道警察の専門家から、詐欺の手口や気を付けるポイントを説明いただくなど、啓発活動に取り組んでいます。JAバンクでは、引続き北海道警察と連携し、特殊詐欺被害の撲滅に向け取り組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済連では、地域社会貢献活動の一環として、昭和50年から毎年道内各市町村の消防本部に救急車を寄贈しております。今年度の寄贈台数は3台であり、十勝地区の中札内消防署、留萌地区の羽幌消防署、上川地区の上富良野消防署に寄贈いたします。

当年度の救急車の寄贈が完了しますと、寄贈させていただきました台数は累計で212台となります。

今後も行政とJAとの連携を図りながら、組合員ならびに地域住民に安心と安全の提供を続けるように努力してまいります。



ホクレン



ホクレンは、北海道日本ハムファイターズと共同で取り組んでいる「北海道農業応援プロジェクト」の一環として、10月1日に札幌ドームで開催された北海道日本ハムファイターズ vs 埼玉西武ライオンズ戦に協賛し、「ホクレン北海道農業応援ナイター」として試合が行われました。試合観戦に訪れた来場者に向けて北海道農畜産物のPRや農業への理解を深めてもらおうと特設ブースを設置。ホクレン大収穫祭などのチラシを配布するほか、大型ビジョンでCM放映を行うなどPR活動を行いました。



JA北海道厚生連



組合員ならびに地域住民の皆様の生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓発推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。本号ではプレゼント企画も行っております。QRコードからWeb上で閲覧・応募が可能となっておりますので、ぜひご応募ください。



↑Web上の閲覧・応募はこちらから



JAグループ北海道の連合会の活動内容を紹介いたします。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRI ACTION!

HOKKAIDO





**牛乳でつくる！
北海道♪ミルクカルボナーラ**

材料（2人分）

- ・特選よつ葉牛乳…200ml
- ・よつ葉バター 加塩…10g
- ・フェットチーネなど（なければ普通のパスタで代用可）…200g
- ・ベーコン…50g

北海道コンサドーレ札幌選手寮

しまふく寮の レシピ紹介

北海道コンサドーレ札幌と
JAグループ北海道は
食農パートナーです！

Vol. 3

「牛乳でつくる！
北海道♪ミルクカルボナーラ」

作り方

- ①「特選よつ葉牛乳」を使います。
- ②鍋に湯を沸かし、フェットチーネを通常より1分短めにゆでる。
- ③ベーコンは1cm幅に切り、ニンニクはみじん切りにする。卵は溶いておく。
- ④フライパンにバターを入れて火にかけて、ニンニク、ベーコンを炒め、香りが立ってきたら薄力粉をふり入れて混ぜる。
- ⑤「特選よつ葉牛乳」を注いでひと煮立ちさせ、塩を加えて弱火にする。
- ⑥ゆで上がったフェットチーネをざるにあげ、湯を切って⑤に入れ、軽く混ぜて火を止め、③の溶いた卵を加えてよく混ぜる。
- ⑦⑥を器に盛り付け、ブラックペッパーをふる。

レシピの特徴

生クリームやチーズがないときでも、「特選よつ葉牛乳」の上質なコクで、すっきりとまろやかなカルボナーラが楽しめます。フェットチーネがない場合は、普通のパスタでもおいしくつくれます。

北海道コンサドーレ札幌の管理栄養士
小松先生のコメント

練習や試合前のエネルギー補給に必要な「炭水化物」、「ビタミンB1」、「ビタミンB2」、「カルシウム」をすべて兼ねそなえたレシピです。試合の3時間前、1試合分にピッタリのメニューです。1時間半、2時間の練習前にはパスタを増量で！皆さんもぜひ、お試しください。

金子拓郎選手



北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、
相互連携協定を結び、食農教育・社会貢献活動を展開しています！



●コンサ・土・農園



●よい食JA親善大使



JAグループ北海道は、「コンサ・土・農園」や「よい食JA親善大使」を通じて、
北海道コンサドーレ札幌とともに、食の重要性を幅広く発信しています。

JAグループ北海道

理事会の経過を お知らせ致します



第12回

11月25日

付議事項

- 議案第1号 理事に対する供給限度額の変更について
- 議案第2号 令和3年産玉葱および長いもの融資単価の設定について
- 議案第3号 固定資産の仮発注について
- 議案第4号 定款の一部改正について
- 議案第5号 経理規程の改正について
- 議案第6号 情報セキュリティ基本規程の改正について
- 議案第7号 情報システム運用管理規程の改正について

議案第8号 固定資産管理規程の改正について

報告事項

1. 令和3年産原料てん菜の概算払いについて
2. 令和3年産原料てん菜の糖分状況について
3. でん粉工場操業の実績報告について
4. 令和3年産種子馬鈴しょ申込みに対する配布実績について
5. 農林漁業セーフティネット資金の融通について
6. 余裕金の運用状況について
7. 情報セキュリティ対策要領の設定について
8. 清里町農業協同組合情報セキュリティ基本方針の改正について
9. パソコン利用管理要領の改正について
10. 固定資産現物確認実施要領の設定について
11. 決算処理要領の改正について
12. 実地棚卸および棚卸資産再評価要領の改正について
13. 資産の償却・引当基準の一部改正について
14. 第10期総合5ヶ年計画にかかると実践管理報告について
15. 監査代替的調査（期中Ⅱ）の実施結果について

第13回

12月13日

付議事項

- 議案第1号 令和3年度期中値引き（奨励）の実施について
- 議案第2号 令和3年産でん粉加工料の決定について
- 議案第3号 令和4年度土地評価基準の設定について
- 議案第4号 令和4年度営農計画樹立に係る作物別単価の設定について
- 議案第5号 令和3年度給与改定について
- 議案第6号 従業員に対する12月期賞与の支給について

協議事項

1. 令和4年度事業運営方針（案）について

報告事項

1. 令和3年産原料てん菜の糖分状況について
2. 令和2年産長いもの本精算に

ついて

3. オホーツクビーンズファクトリー施設拡充の進捗状況について
4. 12月1日暴風被害の報告について

5. 令和4年度固定資産取得価格交渉結果について

6. 理事に対する資金の貸付に係る報告について

7. 令和3年度JA共済コンプライアンス点検結果について

8. 内部監査の実施結果について

新規採用のご紹介

令和3年12月1日付

○野手 雄太

営農部製造課準職員

組合員状況

〈令和4年1月1日現在〉

■組合員数

〈前回報告より〉

正組合員（個人）	217名	（1名減）
〃（法人）	15法人	（変動なし）
准組合員（個人）	1,312名	（1名増）
〃（法人）	0法人	（変動なし）
〃（団体）	18団体	（変動なし）
（合計）	1,562	

新規採用職員のご紹介



○名 前 野手 雄太

○生年月日 昭和62年10月9日

○出身地 清里町

○出身校 富士大学

○趣味・特技 映画鑑賞・野球

○抱負

でん粉工場でパートとして働かせていただいた中で、培った知識や経験を活かし、地元である清里町の農業発展に貢献できよう日々精進していきたいと思えます。どうぞよろしくお願い致します。



菊池 拓哉さん (第8営農集団)
趙 霞さん (中国山東省)

佐久間伸幸さん (第3営農集団)
佐久間直美さん (清里町)

年末・年始の業務日程について

部 門 月 日	事 務 所 でん粉工場	金 融 課	資材センター	機械センター	給 油 所 (清里・札弦)
12/27 (月)	全 部 門 平 常 営 業				
12/28 (火)	全 部 門 平 常 営 業				
12/29 (水)	午前中営業	営 業	午前中営業	午前中営業	営 業
12/30 (木)	休 み	営 業	休 み	休 み	営 業
12/31 (金)	休 み	休 み	休 み	休 み	午前中営業
1 月 1 日 (土) ~ 3 日 (月) までは全部門休業					
1 / 4 (火)	休 み	営 業	休 み	休 み	営 業 (10:00 ~ 15:00)
1 / 5 (水)	休 み	営 業	休 み	休 み	営 業 (10:00 ~ 15:00)
1 / 6 (木)	全 部 門 平 常 営 業				

エーコープきよさと店は年内無休、また、初売りは1月4日(火)となっておりますので、ご利用宜しくお願い致します。



新年明けまして
おめでとうございます

令和4年 元旦

J A 清里町 役職員一同

年末・年始（正月）のATM稼働状況のご案内

年末・年始（正月）のATM稼働状況は、下記の通りとなっております。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	JA清里町	コンビニ、ゆうちょ銀行、他JA（注）
12月30日（木）	通常営業 9時～17時	稼働：最長8時～21時 （コンビニATMは8時～22時）
12月31日（金） 1月3日（月）	休 止	稼働：最長8時～21時 ※休日扱いのため、手数料が発生します。 《取扱注意》 但し、12月31日～1月3日の取引について、コンビニ、 ゆうちょ銀行、他JAはご利用できますが、取扱店舗に よってATMが稼働していない場合があります。
1月4日（火）	通常営業 9時～17時	稼働：最長8時～21時 （コンビニATMは8時～22時）

（注）取扱店舗によっては、ATMが稼働していない場合があります。

- ◎キャッシュカード盗難・紛失の事故が発生した場合
連絡先：JAバンクキャッシュカード紛失共同受付センター
TEL：0120-944-904（24時間受付）
- ◎JAカード（クレジットカード）盗難・紛失の事故が発生した場合
連絡先：ニコス盗難紛失受付センター
TEL：0120-159-674（24時間受付）

現金のお引き出しはお早めに！

あらかじめ現金をお引き出しいただく等のご準備をお願い申し上げます。

JA清里町 金融課

年末・年始（正月）のJA共済からのご案内

年末・年始（正月）のJA共済の対応は、下記の通りとなっております。
ご不便をおかけしますが、何卒ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

	JA清里町 共済課 窓口
12月30日（木）～1月5日（水）	休 日

- ◎自動車事故に見舞われた場合
TEL：0120-258-931（24時間・365日受付）
- ◎レッカー移動や故障時の応急対応が必要な場合
TEL：0120-063-931（24時間・365日受付）

安全運転を心掛けましょう！

JA清里町 共済課

JAへ100%就職（令和2年度実績）

令和4年度第二次学生募集

- 募集人員15名程度（定員60名）●男女共学 ●1カ年、全寮制 ●満24歳未満（令和3年4月1日現在）
●大学卒及び見込、短大・専門学校卒及び見込、高校卒及び見込
●試験日：令和4年2月5日 ●願書受付：令和4年1月5日～1月25日消印有効 ●学校見学もできます

お問合せ

資料請求

JAグループ職員養成校

JAカレッジ

一般財団法人北海道農業協同組合学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1

☎0120-918-417 JAカレッジ **検索**

野菜ソムリエ上級プロ

KAORUの

ベジタブル ライフ



イラスト：小林裕美子

フキのとう

～香りと苦味が春を告げる山菜～

フキのとうのプロフィル

【分類】キク科フキ属

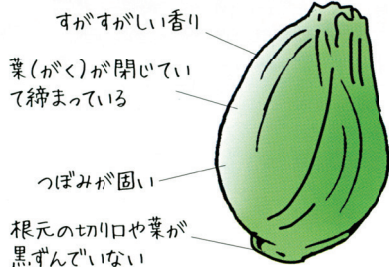
【原産地】日本

【おいしい時期(旬)】12～4月ごろ

【主な栄養成分】カリウム、アルカロイド、
ケンフェロール、フキノリド、食物繊維、
ビタミン類

解説 KAORU

選び方



つぼみが開いて花が開いているのは収穫適期を過ぎているよ

NG

食ベゾろ
育ち過ぎていない
小ぶりのものがお薦め
花芽がほんの少し見えるくらいに葉(がく)が開いている

フキのとうのチカラ

アルカロイド
(苦味成分)

体内の有害物質を排出、さらに肝機能を強化し新陳代謝を促進

カリウム

高血圧などの生活習慣病予防、むくみ解消に効果的

ビタミン類

各種ビタミン、葉酸などをバランス良く含有。代謝促進作用、抗酸化作用に期待

ビタミン

骨や歯の強化に効果的

フキハル
(香り成分)

胃腸の働きを整え、消化を促進する効果に期待

食物繊維

整腸作用を促し、便秘解消や肥満予防に効果

ケンフェロール
(苦味成分)

免疫力を高め、ウイルス感染予防や風邪予防効果に期待

保存方法

鮮度が大切

冷蔵保存

鮮度が落ちるとあくが強く
なり、苦味やえぐ味も増す



乾燥を防ぐ
軽く湿らせた新聞紙に包んでポリ袋に入れて保存



下ゆでして水(または塩水)に漬けておく、あくが強くならず変色しにくい

冷凍保存

下ゆでしてあく抜きしてから冷凍庫へ

自然解凍であえ物や汁物などに利用



ふきみそ
長期保存可能

楽しみ方・食べ方のコツ



特有の香りと苦味を香辛料として活用
天ぷらやあえ物に広く利用



パスタ、ピザ、バターソテー、フリッターなどにしてもおいしいよ



あく抜き

塩を加えて沸騰した湯に入れて、ペーパータオルなどで落としぶたをし3分程度ゆでる
冷水に取り、しばらくさらして冷ましておく

ふきみそ

下ゆでしたフキのとう(または水にさらしたもの)をみじん切りにして油で炒め、みそ、日本酒(みりん)、砂糖を加えてとろ火でかき混ぜながら炒め煮に。焦げやすいので注意!



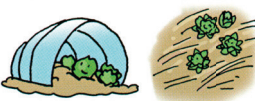
ひき肉を入れるとうま味もアップ!



フキのとうのビミツ

特徴

日本原産の山菜 全国の山野に自生
ハウス栽培物 12～4月ごろまで
天然物 2、3月ごろ



フキとフキのとうは同じ?

フキはつぼみと葉柄が別々の時期に地下から出てくる。雪解けの春先(2、3月ごろ)に咲くフキの花蕾(からい)がフキのとう
開花後(4～6月ごろ)に地下茎から出てきた葉柄がフキ



春を告げる風物詩

北国では雪解けとともに旬を迎える

名の由来

冬に黄色い花を咲かせる「冬黄(ふゆき)」→「ふき」になった(諸説あり)

漢字

「冬季花蕾」「蕾の臺」など

